

# 吼 洋 寮 寮 歌

♩ = 109



くろしおほゆるとうかいのせいとうはくさを  
 そうぼうひょうりきわみなきふじんをとおく一

かむところまゆみのみねの一みどりしてけいりゅう  
 そとにしつせいたいむせる一けんがいにてちて

きよきあぶがおかせいしゆんここにつどひきて  
 てんかをこぼうせばけいりんくもとむねにわき

たかきりそうのゆめむすぶたかきりそうのゆめむすぶ  
 しょうらいたかく一なみにわすしょうらいたかく一なみにわす

## 吼 洋 寮 寮 歌

小坂谷武宏 作詞  
 鎌尾 武男 作曲

- 一、黒潮吼ゆる東海の  
 真弓の峯の緑して  
 青春此處に集ひ来て  
 青濤白砂を嘯む所  
 溪流清き阿武ヶ丘  
 高き理想の夢結ぶ
- 二、匆忙漂離極みなき  
 青苔むせる嶮崖に  
 経綸雲と胸に湧き  
 浮塵を遠く外にしつ  
 立ちて天下を願望せば  
 松籟高く浪に和す
- 三、錦繡深き鮎川の  
 逍遙暫し若人の  
 誰にか問はん熱涙の  
 流れに浮かぶ月冴えて  
 影銀漣に映る時  
 瞳に溢るゝ感激を
- 四、想は遠し高鈴の  
 栄枯の夢の消え残る  
 老松破石寂として  
 影夕陽に映ゆる頃  
 古城の跡に佇めば  
 俯仰に應うる聲もなし
- 五、嗚呼蒼渺の大洋に  
 鯨鯢躍る白浪に  
 昂然空に嘯けば  
 久遠の光我敷かん  
 飛龍の覇圖を描きつゝ  
 星亦永久の光輝あり
- 六、悠久青史窮みなく  
 科學の精華燦爛と  
 嗚呼いざ共に謳歌せん  
 赫奕茲に陽を受けて  
 今望洋の丘に咲く  
 希望に溢るゝ我が行途